

会議録

会議の名称	令和6年度 第1回 西東京市地域自立支援協議会
開催日時	令和6年6月24日（火曜日）午後6時30分から午後9時00分まで
開催場所	イングビル3階 第3・4会議室
出席者	綿祐二委員、根本尚之委員、平雅夫委員、原綾子委員、山田幸樹委員、篠原正樹委員、佐藤千晴委員、田中めゆ委員、渡辺真也委員、緑野健司委員、天宮真依子委員、高橋加寿子委員、佐藤美穂委員、野口紳一郎委員 （オブザーバー）障害者総合支援センターフレンドリー 山田センター長 基幹相談支援センターえぼっく 原塾施設長、下田相談員、L i f e D e s i g n ひとり 前田施設長 （欠席者）麓良久委員
議題	1 第9期西東京市地域自立支援協議会会長・副会長の互選について 2 地域生活支援事業におけるサービスの見直しについて 3 西東京市障害者基本計画及び第6期西東京市障害福祉計画・第2期西東京市障害児福祉計画について 4 日中サービス支援型共同生活援助事業者事業実施状況について（報告） 5 相談支援部会について（報告） 6 権利擁護部会について（報告）
会議資料の名称	資料1 地域生活支援事業の見直しについて 資料2 西東京市障害者基本計画（平成26年度～令和5年度）中間見直し後の状況調査票（令和5年度） 資料3 令和5年度 日中サービス支援型共同生活援助事業者事業実施状況 資料4 令和5年度 西東京市地域自立支援協議会 相談支援部会 実施報告書 資料5 令和5年度 西東京市地域自立支援協議会 権利擁護部会 実施報告書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
傍聴あり	
1 委嘱状交付	
2 委員自己紹介	
3 議題1「第9期西東京市地域自立支援協議会会長・副会長の互選について」 互選のもと、綿会長、根本副会長が選任された。	
4 議題2「地域生活支援事業におけるサービスの見直しについて」 事務局より資料1を説明	
【質疑応答】	
○発言者：委員	
地域生活支援事業について、財源構成の割合についてはわかったが、絶対額は地域支援事業の方が少ないと考えている。	

○事務局

絶対額は自立支援事業のほうが多く、地域生活支援事業のほうが少ない。
令和4年度について、自立支援事業は概ね42億円、地域生活支援事業は今回説明していない日常生活用具等を除いて、概ね1億1千万強の実績額である。

○発言者：委員

1時間あたりの単価を比べたら比較をしやすいと考える。

○事務局

自立支援事業はご利用者の様々な状態による加算等があるため、比較は難しい。

○発言者：委員

自立支援事業を優先して利用してもらおうという考えは理解したが、具体的にどのようなサービスを念頭に置いているか。

○事務局

基本的には、自立支援事業と地域支援事業には対象が重なっているサービスがあるため、対象別や時間帯別での併給制限を設けるなどし、重なっている利用者には自立支援給付に移っていただきたいと考えている。

ただし、自立支援事業の決定までや日中系サービスの夕方以降の利用など、配慮はすべきではあると考えている。

○発言者：委員

移動支援について、この見直しの方向性で良いと考えている。ただし、数年前から課題となっている供給不足については、少しは改善されてきていると感じているが、まだまだ不足していると感じている。ニーズはあるが、サービスの提供がないというのは、この見直し以外でも引き続き考慮していくべき。

○発言者：委員

移動支援について資料内に移動手段の個所があるが、現在バリアフリーが進み車いすが乗れるタクシーがかなり増えてきた。

ハンディキャップけやき号なども良いが、利用者もタクシーなどの他サービスやグループ利用などの利用方法の工夫をもっと利用していく必要があると考えている。

可能であれば、タクシー券の量を増やすなどの対応でもより良い環境になっていくと考える。

○事務局

移動支援の担い手不足については、今回のご意見を基に単価の見直しも考えているが、サービスの見直しを行う際に、サービス内容について変更があると単価についても連動して変更が必要になってしまう可能性があるため、先にサービス内容を検討しているところである。

障害福祉サービス以外に、健常者も利用する通常のサービスを障害のある方も同様に利用できるような社会基盤をどのように作っていくかという活動について、普及啓発を通じて行っていかなければならないと考える。

○発言者：委員

今年度からの計画の見込み量に従って予算を組んでるということで良いか？
また、この協議会は見込みと実績の乖離をどうするか考える場という認識で良いか

○事務局

毎年の実績によって、翌年の予算は増減していくため、毎年計画のとおり組んでるわけではない。
その認識で良い。

○発言者：会長

事業者を増やすために単価を上げるのも一つの手段だが、一方でヘルパーがいないという状況もある。

○発言者：委員

移動支援事業についてどのような人が利用できないのかというと、不定期利用の方。
最初の何時間かは単価をあげるなどの対応も一つの案。

○発言者：委員

視覚障害の同行援護について、ヘルパーは短時間・不規則のため収入が不安定となり職を離れていくことが多い。
移動支援についても、事業者として計画のサイクルを立てられないという課題がある。

○発言者：委員

皆さんおっしゃる通り現場からの声は通院や事業所への通所ができなくなってしまうといった問題がある。また、高齢化の問題もある。
4月から報酬改定もあり、B型の作業所では職員一人当たりの負担が増えている。
利用者の保護者も移動支援の予約をあきらめかけている節がある

○発言者：委員

見込みと実績の乖離をどう埋めるかについて、実績を上げることを考えていたが、そればかりでないと気づかされた。例えば、通院については自分の病院では訪問診療を始めた。
訪問診療など、ほかの手段で移動支援の利用の見込みを減らすといったのも一つの手段である。

○発言者：会長

移動支援の利用ができないから事業所で対応し、人がとられるといった課題がある。
オンライン診療や訪問診療など、活用を考えていく必要がある。

○発言者：委員

日中一時支援について、3事業者が時間延長していると聞いたが、詳しく聞きたい。

○事務局

まだ調査が終わっていない状態ではあるが、報酬改定に伴い調査をかけ、時間延長をしている事業所が市内で3事業所あった。

30分～1時間程度ではあるが、その部分のニーズは対応できるようになってきている。

○発言者：委員

保護者の仕事などの観点から、それ以上の時間数が必要になると考える。

○発言者：委員

放課後等デイサービスは今回時間区分が大きく変わった。土曜日については、延長加算などで対応しているが、人件費がどんどん上がってきている。働き方改革や不足ニーズの対応などで人が足りない。

移動支援で複数人を見ていると利用者を見失ってしまうケースや、シルバー人材だと対応が難しい利用者もいる。

これまでの話に出ているように、代替を考えていく必要があると思う。

施設内では複数の職員でカバーしあえるが、敷地外で一对一だとリスクも出てくるため、新規参入についても難しいと感じている。

5 議題3「西東京市障害者基本計画及び第6期西東京市障害福祉計画・第2期西東京市障害児福祉計画について」

事務局より資料2を説明

【質疑応答】

○発言者：委員

防災関係が△が多かったのが気になった。

近年災害も多く、今後△が多かった事業については、各課において今後改善を検討してほしい。

○事務局

昨年度の計画策定部会でも防災関係については質問・意見が多くあった。今回の計画でも、取り組むべきこととしている。

地域の自治会等がコロナで弱ってしまったこともあるため、事業所との避難所運営の協定等を結んで避難所対応等を強化していきたい。なお、今年度から1か所の共同生活援助事業所と避難所運営の協定を結んでいる。

6 議題4「日中サービス支援型共同生活援助事業者事業実施状況について（報告）」

事務局より資料3を報告

【質疑応答】

○発言者：委員

日中サービス支援型のグループホームだが、日中のケアをしているのは何人か？

土日は基本家族いるため帰っている人が多いとのことだが、全員か？

○事務局

体調不良などで3人ほど日中のケアをしている。

毎週外泊する利用者は約15人。それ以外は月1・2回など。正月などしか家に帰らない利用者もいる。

土日帰らなくてはいけない決まりはないが、施設ができて年数もたっていないので、家族と一緒に過ごしたいという方が多い。

○発言者：委員

体験の場の確保実績1人について、そもそもニーズがないのか。それともニーズがあるが利用ができていないのか。

最近新しくできた日中サービス支援型事業所については報告はいつか。

○事務局

新しくできた日中サービス支援型事業所については、今年5月1日に1か所開所したため、来年度に報告がある。

短期入所を利用した地域生活支援拠点事業は市から委託している。利用人数が少ないのは課題だと考えているが、潜在的なニーズはあると考えている。

今年度については既に1件実績がある。

7 議題5 「相談支援部会について（報告）」

事務局より資料4を報告

8 議題6 「権利擁護部会について（報告）」

事務局より資料5を報告

【質疑応答】

○発言者：委員

権利擁護部会について年1回開催ということだが、回数含めてより充実していくと良いと考えている。

閉会